

いつもP-Web, PBCSをご利用頂き、誠にありがとうございます。
サポート事業部の川内です。
何かと忙しい年末が近づいてきました。
今年も残り僅かですね。皆様には大変お世話になりました。
さて、今年最後の「Pleasure News」をお届けします。
少しでも皆様のお役に立てれば幸いです。
皆様のご意見・ご感想をお待ちしております。
→y-kawauchi@pleasure-inc.co.jp
TEL: 03-3823-0304



「検索キーワード」をグーグルに考えてもらう技

自分が探している情報にぴったりのキーワードがすぐには思いつかない場合もあります。
このような場合には「グーグルサジェスト」を利用してみましょう。

これは検索ボックスに入力しようとしているキーワードを先読みし、関連性のあるキーワードを一覧で表示し、サジェスト（提案）する機能です。

検索ボックスにキーワードを入力しはじめると、ドロップダウンメニューで複数のキーワードが表示されます。あとはその中から適当なものを選択するだけ。つまり、検索のためにキーワードを考える必要がないのです。最初に入力しようと考えていたキーワードよりも適切なものがメニューの中に見つければ、そちらを選択して検索することもできるため、入力したことのない、知らない用語を検索したい場合にも非常に便利です。

「グーグルサジェスト」にアクセスし、Google検索ボックスに適当なワードを入力してみましょう。するとユーザーが入力した文字に関連するキーワードがプルダウンメニューで一覧表示されます。



わずかアルファベット1文字であっても、関連するキーワードをサジェスト。正確に記憶していないキーワードであっても、頭文字さえ覚えていれば検索できてしまいます。

グーグルサジェストで入力するキーワードは、条件を絞り込むほどサジェストの数が少なくなります。



~PLEASUER NEWS編集~

担当: 川内洋子 P-webサポート
趣味: 読書、まったりとお茶など

葉っぱの落ちた街路樹にいつそう寒々しさを感じるこの頃…。
しかし、夜になればまた別。イルミネーションの光に心浮き立つクリスマスシーズンでもあります。
クリスマスといえばケーキ。ケーキと聞いて反射的に私が思い浮かべるのは、白いクリームにイチゴのオーソドックスなデコレーションケーキ。
今はいろいろな種類のケーキがあって、選ぶのに心底迷ってしまいます。
ただ、なんのケーキに限らなくとも、テーブルの上に置かれたケーキ、そのシュエーション自体が幸せの象徴のような気もします。誰もがついココロとしてしまう、暖かいイメージそのもの。
あ〜、クリスマスまであと数日あるのに、生クリームのケーキが食べたくなってきました〜。



今月の一冊

敬愛する詩人。谷川俊太郎さん。
初めて谷川さんの詩を知ったのは、中学の国語の教科書です。退屈な授業の真っ最中、パラパラとめくっていた教科書の後ろに載った一篇の詩が出会いでした。
この詩集には、その頃の初期の作品も修められています。他にも胸に染み入るものがたくさん入っています。何をどう感じるかは人によって様々だと思います。「大きなクリスマスツリーが立った」今一番ピッタリ来詩も入っています。

ピンポンをするようにごく自然に詩を書き始めた青年は、やがて「ことばあそびうた」をあそび、自らの声でその詩を語り、透明感あふれる日本語宇宙を広げていった。
いつもいちばん新鮮でいちばん懐かしい谷川俊太郎の決定版・代表詩選集。



著: 谷川俊太郎